

# 相生デイサービス新聞

発行所  
相生DS  
44-4165



春は名のみの風の寒さや  
立春とはいえ、冬の冷気が残ります。  
それでも度の梅の木に水仙に

窓に射し込む

光にも

近づく春を

感じます。

## 名句

いつしかに

失せゆく針の供養かな

松本たかし

## 寒造り

日本酒は寒いこの時期に



米を蒸す



麹菌を

## 酒場放浪記



宇都宮屋台横丁



・おくらまんじゅう・昭和28年・土門拳

## 旅...

(青森)



## 冬牡丹

(日光市)



季節の味です

苦みと香りが  
春らしく...

味噌

## 懐かしのコマーシャル

「伊東に行くなら

ハトヤ

電話は 4126

よいふう」

作曲 いざみたく

作詞 野坂昭如

(昭和32年)

## 旬

ふぐ

大満足コース



「はい、たいへんお得でして  
...私の方が  
「えっ、これだけ  
どこがお得なの  
「おぼろげなランチを  
たのんだ。  
運ばれてきたのは  
ごはんと漬物だけ。  
「は、これだけ  
「ビュー」  
荒れ狂う  
赤城あらし  
欄干に  
しがみつきながら  
中程まで来た。  
月  
北風吹きめく  
寒い朝も  
心ひとつで  
あたたかくなる  
北風の中に  
きこうよ春を  
こんな  
歩みごと  
私なのだ。  
こ水が  
私の  
人生の縮図だ。  
あとわずかで  
渡りきる。  
天声珍語

ススム